

---

# 業績ハイライト

— 平成29年3月期第2四半期決算について —



---

# 目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	9
9. 平成29年 3月期 業績予想及び配当方針	…	9

# 1. 損益の状況

## ① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	27年9月期	28年9月期	28年3月期	
			前年同期比	増減率
連結経常収益	21,889	22,449	559	2.5
経常利益	3,258	2,799	△ 458	△ 14.0
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,293	2,949	△ 343	△ 10.4

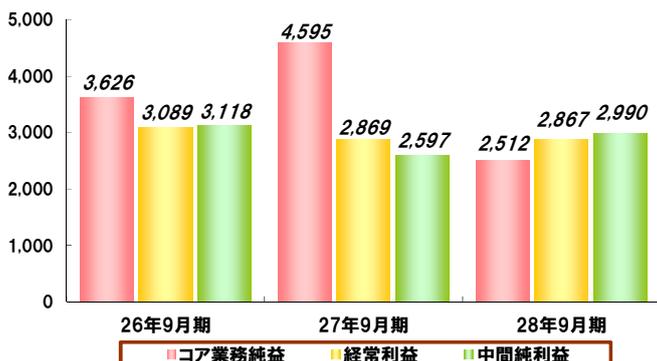
- 連結経常収益は224億49百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は29億49百万円となりました。なお、中間期に増収減益となるのは、2期連続です。

## ② 2行合算

(単位:百万円、%)

	27年9月期	28年9月期	28年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	21,185	19,471	△ 1,713	△ 8.0
業務粗利益	17,205	15,831	△ 1,373	△ 7.9
資金利益	16,284	14,421	△ 1,862	△ 11.4
役務取引等利益	1,204	1,170	△ 34	△ 2.8
その他業務利益	△ 284	239	523	-
うち国債等債券損益	△ 292	230	523	-
経費(除く臨時処理分)	12,902	13,088	186	1.4
うち人件費	6,537	6,475	△ 61	△ 0.9
うち物件費	5,420	5,615	194	3.5
業務純益(一般貸倒繰入前)	4,303	2,742	△ 1,560	△ 36.2
コア業務純益	4,595	2,512	△ 2,083	△ 45.3
一般貸倒引当金繰入額	△ 647	-	647	-
業務純益	4,950	2,742	△ 2,207	△ 44.5
臨時損益	△ 2,081	125	2,206	-
うち不良債権処理額	2,004	126	△ 1,878	△ 93.7
うち個別貸倒引当金繰入額	1,755	-	△ 1,755	-
うち貸倒引当金戻入益	-	315	315	-
うち株式等関係損益	349	176	△ 172	△ 49.4
経常利益	2,869	2,867	△ 1	0.0
特別損益	△ 176	△ 36	140	-
中間純利益	2,597	2,990	392	15.0
与信関係費用	1,349	△ 197	△ 1,546	△ 114.6

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比17億13百万円減少の194億71百万円(増減率△8.0%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことや物件費の増加により、前年同期比20億83百万円減少の25億12百万円(増減率△45.3%)となりました。
- 経常利益は、与信関係費用の減少により前年同期比1百万円減少の28億67百万円。中間純利益は、法人税等合計が前年同期比2億53百万円減少したことなどから、前年同期比3億92百万円増加の29億90百万円となりました。

# 1. 損益の状況

## ③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	27年9月期	28年9月期	28年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	12,675	11,231	△ 1,443	△ 11.3
業務粗利益	10,534	9,170	△ 1,364	△ 12.9
資金利益	10,041	8,294	△ 1,746	△ 17.3
役務取引等利益	595	692	97	16.4
その他業務利益	△ 101	182	284	-
うち国債等債券損益	△ 107	175	282	-
経費(除く臨時処理分)	7,757	7,772	14	0.1
うち人件費	4,050	3,942	△ 108	△ 2.6
うち物件費	3,130	3,271	141	4.5
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,776	1,397	△ 1,379	△ 49.6
コア業務純益	2,883	1,222	△ 1,661	△ 57.6
①一般貸倒引当金繰入額	238	-	△ 238	△ 100.0
業務純益	2,538	1,397	△ 1,140	△ 44.9
臨時損益	△ 1,016	△ 190	826	-
②うち不良債権処理額	586	91	△ 495	△ 84.4
うち個別貸倒引当金繰入額	465	-	△ 465	△ 100.0
(貸倒償却引当費用①+②)	825	91	△ 734	△ 88.9
うち貸倒引当金戻入益	-	57	57	100.0
うち株式等関係損益	△ 3	136	139	-
経常利益	1,521	1,207	△ 314	△ 20.6
特別損益	△ 193	△ 43	149	-
中間純利益	1,359	1,473	114	8.3
与信関係費用	820	28	△ 791	△ 96.5

(単位:百万円)

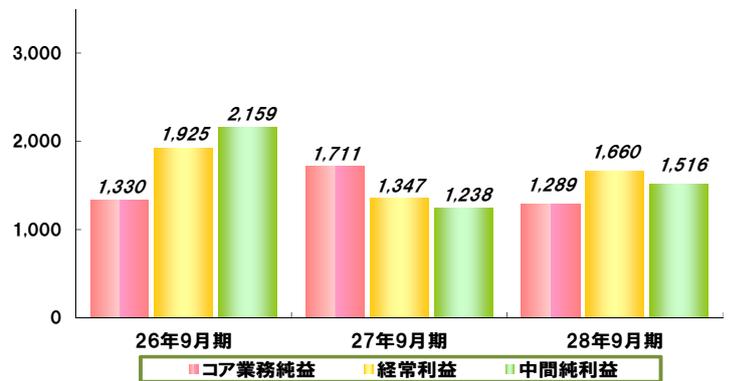


## ④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	27年9月期	28年9月期	28年3月期	
			前年同期比	増減率
経常収益	8,509	8,239	△ 270	△ 3.1
業務粗利益	6,670	6,661	△ 9	△ 0.1
資金利益	6,243	6,127	△ 115	△ 1.8
役務取引等利益	609	477	△ 131	△ 21.6
その他業務利益	△ 182	56	238	-
うち国債等債券損益	△ 185	55	240	-
経費(除く臨時処理分)	5,144	5,316	171	3.3
うち人件費	2,486	2,533	47	1.9
うち物件費	2,290	2,343	52	2.3
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,526	1,345	△ 181	△ 11.8
コア業務純益	1,711	1,289	△ 421	△ 24.6
①一般貸倒引当金繰入額	△ 885	-	885	-
業務純益	2,411	1,345	△ 1,066	△ 44.2
臨時損益	△ 1,064	315	1,380	-
②うち不良債権処理額	1,417	35	△ 1,382	△ 97.5
うち個別貸倒引当金繰入額	1,290	-	△ 1,290	-
(貸倒償却引当費用①+②)	531	35	△ 496	△ 93.4
うち貸倒引当金戻入益	-	258	258	-
うち株式等関係損益	352	40	△ 312	△ 88.6
経常利益	1,347	1,660	313	23.2
特別損益	17	7	△ 9	△ 56.7
中間純利益	1,238	1,516	278	22.4
与信関係費用	529	△ 225	△ 754	-

(単位:百万円)

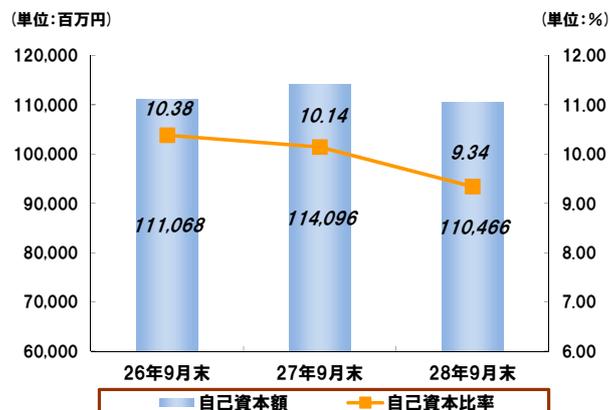


- 経常収益は、貸出利回りの低下により貸出金利息が減少したことと、有価証券利息配当金が減少したことなどから、前年同期比14億43百万円減少の112億31百万円(増減率△11.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したことなどから、前年同期比16億61百万円減少の12億22百万円(増減率△57.6%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金の戻入などにより前年同期比7億91百万円減少の28百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比3億14百万円減少の12億7百万円、中間純利益は前年同期比1億14百万円増加の14億73百万円となりました。

- 経常収益は、有価証券利息配当金や株式等売却益が減少したことなどから、前年同期比2億70百万円減少の82億39百万円(増減率△3.1%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役務取引等利益の減少に加え、経費の増加などから、前年同期比4億21百万円減少の12億89百万円(増減率△24.6%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒償却引当費用の減少及び貸倒引当金戻入益の計上から、前年同期比7億54百万円減少の△2億25百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比3億13百万円増加の16億60百万円、中間純利益は前年同期比2億78百万円増加の15億16百万円となりました。

## 2. 自己資本比率の状況

### ① じもとホールディングス連結



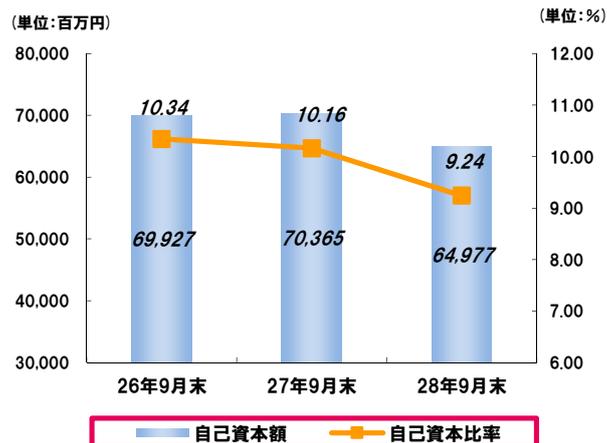
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は9.34%となりました。

(単位: %)

	26年 9月末	27年 9月末	28年 9月末	26年 9月末比	27年 9月末比
連結自己資本比率	10.38	10.14	9.34	△ 1.04	△ 0.80

### ② きらやか銀行

自己資本比率 (単体) の推移

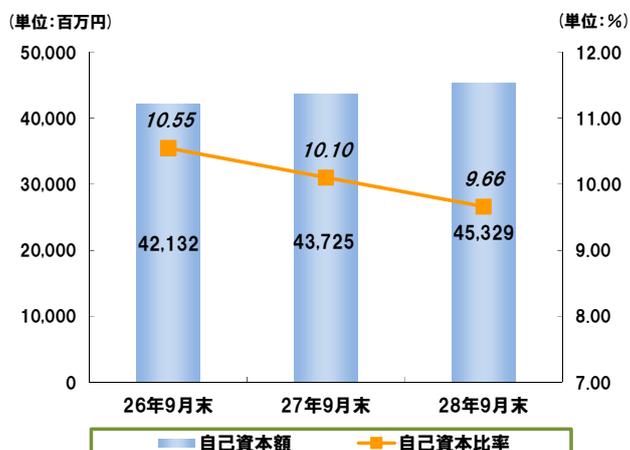


- 単体の自己資本比率は、劣後特約付社債等61億円を平成28年3月期に期限前償還したことで自己資本額 (分子) が減少したことから、27年9月末比0.92ポイント低下の9.24%となりました。

(単位: %)

	26年 9月末	27年 9月末	28年 9月末	26年 9月末比	27年 9月末比
自己資本比率[単体]	10.34	10.16	9.24	△ 1.10	△ 0.92
自己資本比率[連結]	10.41	10.19	9.16	△ 1.25	△ 1.03

### ③ 仙台銀行



- 自己資本比率は、中間純利益を15億16百万円計上し、自己資本額 (分子) が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット (分母) が増加したことなどから、27年9月末比0.44ポイント低下の9.66%となりました。

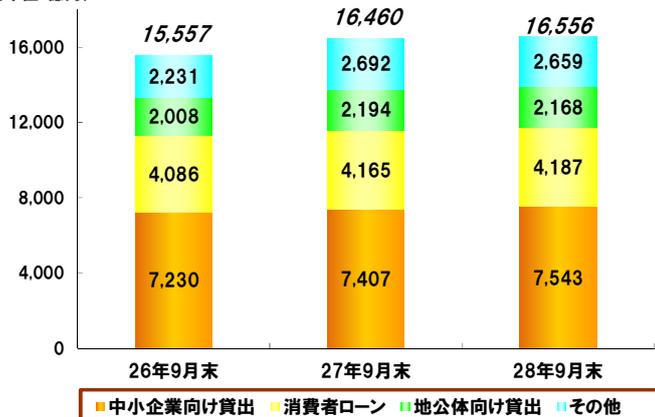
(単位: %)

	26年 9月末	27年 9月末	28年 9月末	26年 9月末比	27年 9月末比
自己資本比率	10.55	10.10	9.66	△ 0.89	△ 0.44

### 3. 貸出金の状況

#### ① 2行合算

(単位:億円)



- 2行合算の貸出金残高は、27年9月末比95億73百万円増加の1兆6,556億10百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,646,036	1,655,610	9,573	0.5
うち中小企業向け貸出残高	740,799	754,371	13,572	1.8
うち消費者ローン	416,519	418,727	2,207	0.5
うち住宅ローン	385,970	383,304	△ 2,666	△ 0.6
うち地方公共団体向け貸出	219,449	216,812	△ 2,637	△ 1.2

#### ② きらやか銀行

(単位:億円)



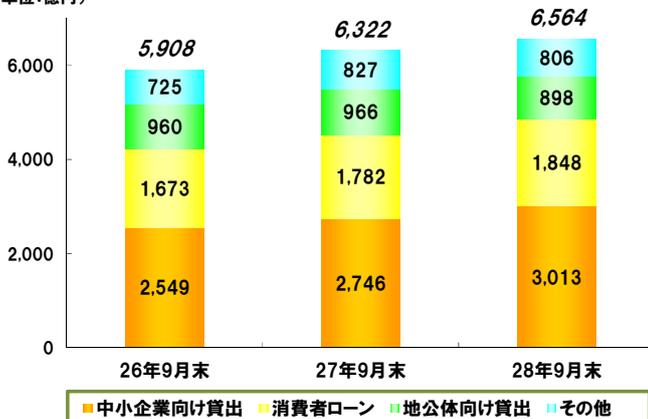
- 貸出金残高は、市場性ローンが償還により136億69百万円減少したことなどから、27年9月末比146億35百万円減少の9,991億69百万円となりました。
- 中小企業等を含む事業性融資については、ほぼ横這いとなっておりますが、事業性融資先数は、27年9月末比145先増加しております。

(単位:百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,013,804	999,169	△ 14,635	△ 1.4
うち中小企業向け貸出残高	466,155	453,043	△ 13,112	△ 2.8
うち消費者ローン	238,294	233,875	△ 4,419	△ 1.8
うち住宅ローン	226,301	221,795	△ 4,506	△ 1.9
うち地方公共団体向け貸出	122,827	126,923	4,096	3.3

#### ③ 仙台銀行

(単位:億円)



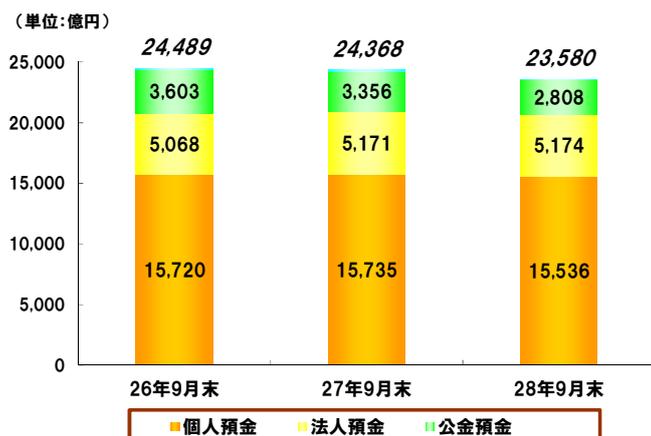
- 貸出金残高は、27年9月末比242億9百万円増加の6,564億41百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、お客様の様々な資金需要へ積極的に対応したことから、27年9月末比266億84百万円増加の3,013億28百万円となりました。
- 消費者ローンは、27年9月末比66億27百万円増加の1,848億52百万円となりました。内訳は、住宅ローン18億円増加の1,615億8百万円、個人ローンが47億円増加の233億44百万円となっております。
- 地方公共団体向け貸出は、27年9月末比67億33百万円減少の898億89百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
貸出金(末残)	632,231	656,441	24,209	3.8
うち中小企業向け貸出残高	274,643	301,328	26,684	9.7
うち消費者ローン	178,225	184,852	6,627	3.7
うち住宅ローン	159,669	161,508	1,839	1.1
うち地方公共団体向け貸出	96,622	89,889	△ 6,733	△ 6.9

## 4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

### ① 2行合算



- 2行合算の預金残高は、27年9月末比788億4千万円減少の2兆3,580億46百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,436,851	2,358,046	△ 78,804	△ 3.2
うち個人預金	1,573,594	1,553,675	△ 19,919	△ 1.2
うち法人預金	517,133	517,488	354	0.0
うち公金預金	335,633	280,814	△ 54,819	△ 16.3

### ② きらやか銀行

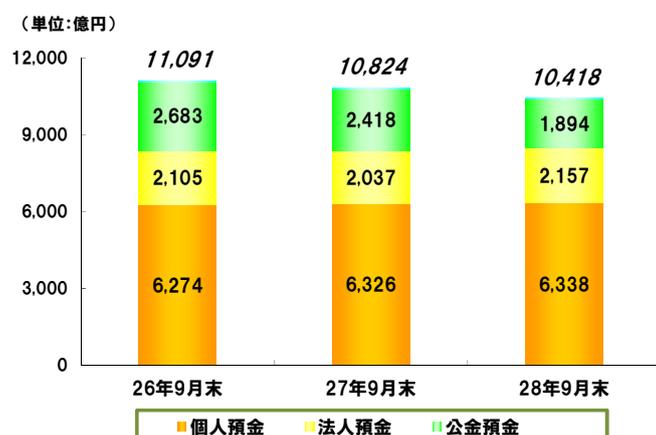


- 預金残高は、27年9月末比381億58百万円減少の1兆3,162億44百万円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制したことから定期預金が減少したことなどにより、27年9月末比210億85百万円減少の9,198億42百万円となりました。
- 法人預金は、27年9月末比116億33百万円減少の3,017億14百万円となりましたが、平均残高は、前年同期比93億11百万円増加の2,943億56百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,354,403	1,316,244	△ 38,158	△ 2.8
うち個人預金	940,928	919,842	△ 21,085	△ 2.2
うち法人預金	313,348	301,714	△ 11,633	△ 3.7
うち公金預金	93,832	91,358	△ 2,473	△ 2.6

### ③ 仙台銀行



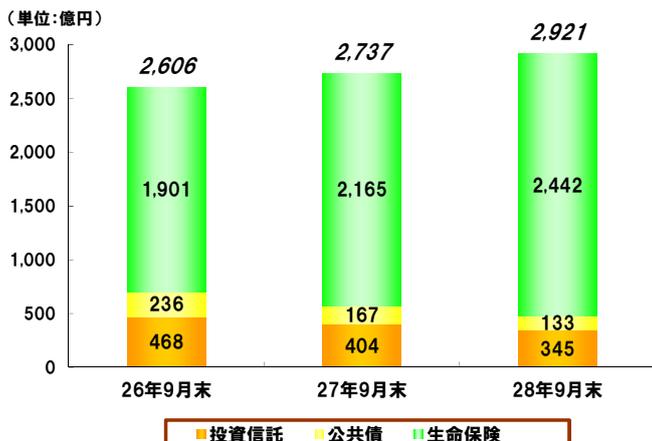
- 預金残高は、公金預金等の減少により、27年9月末比406億45百万円減少の1兆418億1百万円となりました。
- 個人預金は、27年9月末比11億66百万円増加の6,338億32百万円となりました。
- 法人預金は、27年9月末比119億87百万円増加の2,157億73百万円となりました。
- 公金預金は、27年9月末比523億45百万円減少の1,894億56百万円となりました。

(単位: 百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,082,447	1,041,801	△ 40,645	△ 3.7
うち個人預金	632,666	633,832	1,166	0.1
うち法人預金	203,785	215,773	11,987	5.8
うち公金預金	241,801	189,456	△ 52,345	△ 21.6

## 5. 預かり資産の状況

### ① 2行合算



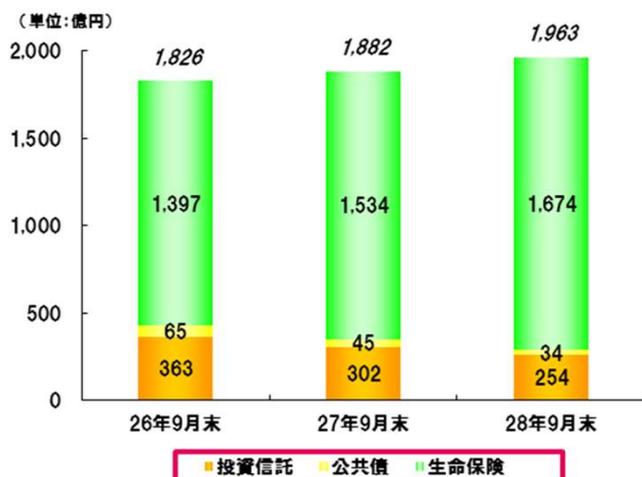
- 2行合算の預かり資産残高は、27年9月比183億25百万円増加の2,921億23百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	273,798	292,123	18,325	6.6
うち投資信託	40,489	34,515	△ 5,973	△ 14.7
うち公共債(国債等)	16,742	13,364	△ 3,377	△ 20.1
うち生命保険	216,567	244,243	27,676	12.7

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

### ② きらやか銀行



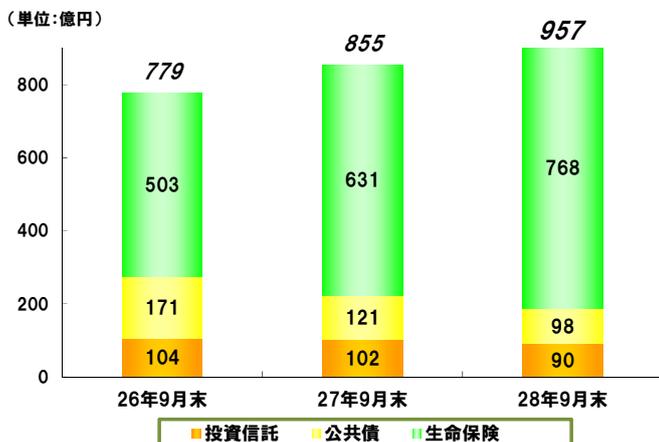
- 預かり資産残高は、27年9月末比80億94百万円増加の1,963億72百万円となりました。
- 投資信託は、27年9月末比47億86百万円減少の254億65百万円となりました。
- 公共債は、27年9月末比10億89百万円減少の34億99百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高く、販売額が増加したことで、27年9月末比139億70百万円増加の1,674億7百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	188,278	196,372	8,094	4.2
うち投資信託	30,252	25,465	△ 4,786	△ 15.8
うち公共債(国債等)	4,588	3,499	△ 1,089	△ 23.7
うち生命保険	153,437	167,407	13,970	9.1

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

### ③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、27年9月末比102億31百万円増加の957億51百万円となりました。
- 投資信託は、27年9月末比11億86百万円減少の90億49百万円となりました。
- 公共債は、27年9月末比22億88百万円減少の98億65百万円となりました。
- 生命保険は、お客様の保険運用ニーズが依然として高く、27年9月末比137億6百万円増加の768億36百万円となりました。

(単位:百万円、%)

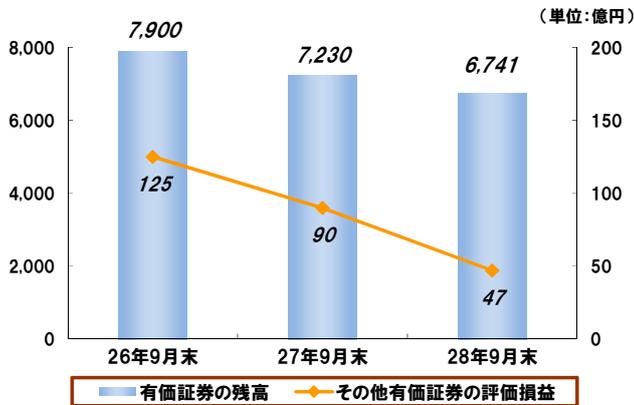
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	85,519	95,751	10,231	11.9
うち投資信託	10,236	9,049	△ 1,186	△ 11.5
うち公共債(国債等)	12,153	9,865	△ 2,288	△ 18.8
うち生命保険	63,129	76,836	13,706	21.7

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

## 6. 有価証券の状況

### ① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、27年9月末比489億5百万円減少の6,741億16百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、27年9月末比43億47百万円減少し、47億45百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

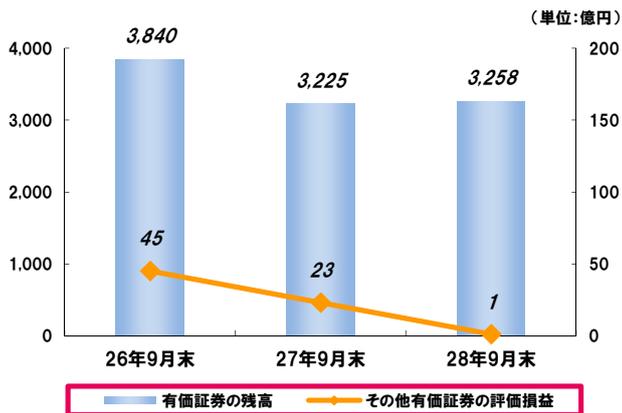
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
有価証券	723,022	674,116	△ 48,905	△ 6.7
国債	257,283	201,570	△ 55,713	△ 21.6
地方債	87,292	74,603	△ 12,688	△ 14.5
社債	225,525	217,495	△ 8,030	△ 3.5
株式	15,327	15,686	359	2.3
その他証券	137,592	164,759	27,167	19.7

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比
その他有価証券	9,093	4,745	△ 4,347
株式	5,568	1,942	△ 3,625
債券	8,065	8,725	659
その他	△ 4,540	△ 5,922	△ 1,381

### ② きらやか銀行

- 有価証券残高は、債券運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、27年9月末比32億71百万円増加の3,258億68百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、27年9月末比22億11百万円減少し、1億45百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

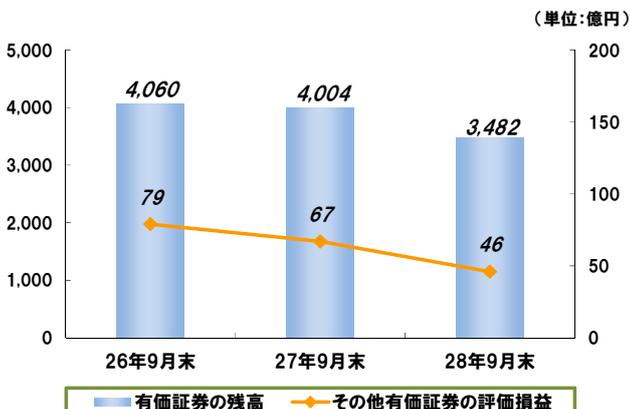
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
有価証券	322,596	325,868	3,271	1.0
国債	135,077	130,686	△ 4,390	△ 3.2
地方債	10,369	8,254	△ 2,115	△ 20.4
社債	79,204	69,212	△ 9,992	△ 12.6
株式	6,249	8,462	2,212	35.4
その他証券	91,695	109,252	17,556	19.1

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比
その他有価証券	2,356	145	△ 2,211
株式	1,366	556	△ 809
債券	3,664	3,474	△ 190
その他	△ 2,674	△ 3,885	△ 1,210

### ③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、保有していた債券の償還などにより、27年9月末比521億76百万円減少の3,482億48百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、27年9月末比21億36百万円減少し、46億円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位: 百万円, %)

	27年9月末	28年9月末	27年9月末比	増減率
有価証券	400,425	348,248	△ 52,176	△ 13.0
国債	122,205	70,883	△ 51,322	△ 41.9
地方債	76,922	66,349	△ 10,573	△ 13.7
社債	146,321	148,283	1,962	1.3
株式	9,078	7,224	△ 1,853	△ 20.4
その他証券	45,896	55,507	9,610	20.9

②その他有価証券の評価損益 (単位: 百万円)

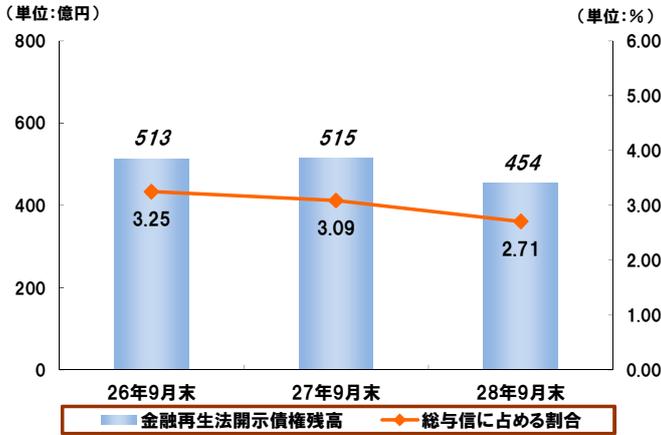
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比
その他有価証券	6,736	4,600	△ 2,136
株式	4,201	1,385	△ 2,815
債券	4,400	5,251	850
その他	△ 1,865	△ 2,036	△ 171

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

# 7. 金融再生法開示債権の状況

## ① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、27年9月末比60億79百万円減少の454億24百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、27年9月末比0.38ポイント低下の2.71%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

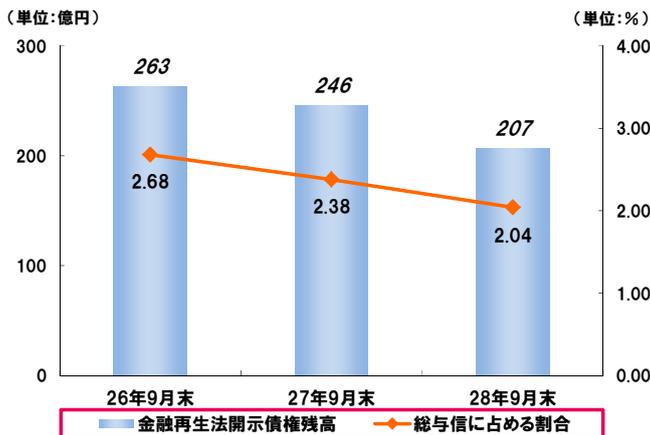
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,685	5,820	2,134
危険債権	42,827	35,323	△ 7,503
要管理債権	4,990	4,280	△ 709
合計 (A)	51,504	45,424	△ 6,079
正常債権	1,615,013	1,630,246	15,232
総与信額 (B)	1,666,517	1,675,671	9,153
( A / B )	3.09	2.71	△ 0.38

②金融再生法開示債権の保全状況(28年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,820	5,820	2,629	3,190	100.00
危険債権	35,323	31,884	25,547	6,336	90.26
要管理債権	4,280	1,166	752	414	27.23
合計	45,424	38,870	28,929	9,941	85.57

## ② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、27年9月末比38億40百万円減少の207億82百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、27年9月末比0.34ポイント低下の2.04%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

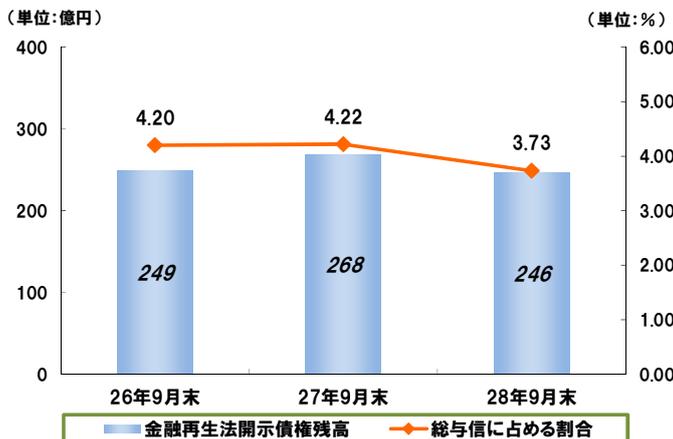
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,029	4,342	2,313
危険債権	19,572	13,626	△ 5,945
要管理債権	3,020	2,813	△ 207
合計 (A)	24,622	20,782	△ 3,840
正常債権	1,006,275	994,957	△ 11,318
総与信額 (B)	1,030,897	1,015,739	△ 15,158
( A / B )	2.38	2.04	△ 0.34

②金融再生法開示債権の保全状況(28年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,342	4,342	1,632	2,709	100.00
危険債権	13,626	11,074	8,963	2,111	81.26
要管理債権	2,813	485	106	379	17.24
合計	20,782	15,901	10,701	5,200	76.51

## ③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、27年9月末比22億39百万円減少の246億42百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、27年9月末比0.49ポイント低下の3.73%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

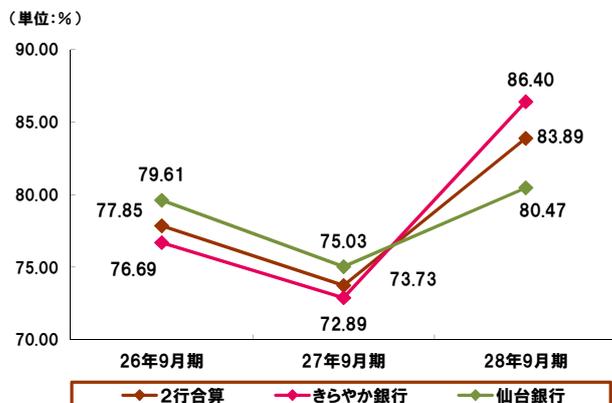
	27年9月末	28年9月末	27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,656	1,477	△ 178
危険債権	23,255	21,697	△ 1,558
要管理債権	1,970	1,467	△ 502
合計 (A)	26,881	24,642	△ 2,239
正常債権	608,738	635,289	26,551
総与信額 (B)	635,619	659,932	24,312
( A / B )	4.22	3.73	△ 0.49

②金融再生法開示債権の保全状況(28年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,477	1,477	997	480	100.00
危険債権	21,697	20,810	16,584	4,225	95.91
要管理債権	1,467	680	645	35	46.38
合計	24,642	22,968	18,227	4,740	93.20

## 8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、27年9月末比10.16ポイント上昇し、83.89%となりました。



(単位:%)

		26年9月期	27年9月期	28年9月期	26年9月期比	27年9月期比
コアOHR	2行合算	77.85	73.73	83.89	6.04	10.16
	きらやか銀行	76.69	72.89	86.40	9.71	13.51
	仙台銀行	79.61	75.03	80.47	0.86	5.44

## 9. 平成29年3月期 業績予想及び配当方針

### ① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成29年3月期の連結業績予想は、経常利益40億円、親会社株主に帰属する当期純利益34億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成29年3月期の中間配当金は、1株あたり2円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金は、1株あたり2円50銭を予定しております。

(単位:百万円)

	29年3月期	(参考) 28年3月期	基準日	中間	期末	年間
			配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
経常利益	4,000	5,283	(参考) 28年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,400	4,889				

### ② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益23億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益19億円を見込んでおります。

#### きらやか銀行

(単位:百万円)

	29年3月期	(参考) 28年3月期
経常利益	2,300	2,737
当期純利益	2,000	2,124

#### 仙台銀行

(単位:百万円)

	29年3月期	(参考) 28年3月期
経常利益	2,200	2,431
当期純利益	1,900	2,115